

- (6) JSS に関する講習会を東京及び大阪の2ヵ所で開催するよう準備を開始した。
 テーマ: JSS の製造から利用まで——JSS を正しく理解していただくために——
 開催: 東京会場: 昭和 57 年 2 月 4 日
 大阪会場: 昭和 57 年 2 月 10 日
- (7) 低合金鋼シリーズ A (機器分析用) についての評価を発光分光分析分科会及び蛍光 X 線分析分科会に依頼して報告を受けた。
 井樋田睦, 佐藤利光: 機器分析用低合金鋼シリーズ標準試料の評価, 鉄と鋼, **68** (1982) 2, p. 236
 安田 浩: 蛍光 X 線分析法による機器分析用標準試料の評価—日本鉄鋼標準試料低合金鋼 A シリーズ—, 鉄と鋼, **68** (1982) 1, p. 65
- (8) 鋼中炭化物抽出分離定量用標準試料の調製について, 報告を受けた。
 成田貴一: 鋼中炭化物抽出分離定量用標準試料の調製, 鉄と鋼, **67** (1981) 16, p. 2603

新刊案内

“わが国における酸素製鋼法の歴史”

刊行のお知らせ

日本鉄鋼協会 鉄鋼科学・技術史委員会編

標記図書が昭和 57 年 1 月末 日本鉄鋼協会より出版の運びとなりました。

本報告書は、「今世紀における鉄鋼の科学・技術の発展の歴史を調査研究し、現代における研究、開発課題の把握に資すること」を目的として、日本鉄鋼協会に設けられた鉄鋼科学・技術史委員会酸素製鋼ワーキング・グループの 5 年余に及ぶ研究の成果をとりまとめたものである。

目次にも示されているように、本書は、LD 転炉法の技術と理論の発展のあしどりを、その源泉と源流に遡つてたどるとともに、周囲条件あるいは隣接領域を形成する技術分野の動向にも可能な限り目を配って、将来の展望に資することを旨としている。このために、LD 転炉法の変遷を単に事実として羅列するのではなく、その変遷の要因を技術条件、経済条件、社会的背景、技術思想などと関連させてとらえている。

新しい製鋼法の揺籃期とも言われている昨今、本書は、製鋼技術の開発に従事している技術者・研究者はもとより、今後の鉄鋼技術の動向に興味を持たれている多くの方々に、いくつかの示唆を与えるものであると確心いたします。是非皆様の必読書としてご利用下さいますようご案内申し上げます。

1. 書 名 わが国における酸素製鋼法の歴史
B 5 判, 上製本, 520 頁
2. 価 格 会員価格 5,500 円, 非会員価格 7,000 円 —送料 300 円—
3. 申 込 先 日本鉄鋼協会庶務課
〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 電話 03-279-6021
4. 購入手続 書籍の分譲は前納となっておりますので、次のいずれかの方法で、ご送金願います。
 - (1) 現金書留
 - (2) 銀行振込 取引銀行 (普通預金)

住友銀行 東京営業部 No. 250300	太陽神戸銀行 大手町支店 No. 1000580
第一勧業銀行 東京中央支店 No. 1167361	東海銀行 東京営業部 No. 580348
東京銀行 丸の内支店 No. 080934	三菱銀行 大手町支店 No. 0007984

 口座名義・社団法人 ニホンテツコウキョウカイ 日本鉄鋼協会
 - (3) 郵便振替 (東京 7-193 番)

※銀行振込の際は、入金後に、送金内訳、請求書番号、送付先などを必ず御連絡下さい。